

# 医療行動科学 9 : 607-6-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
6年次	前学期	6年次学年教育主任

学修目標 (GIO) と単位数	<p>・単位数：1</p> <p>・学修目標 (GIO)：臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>SBOs：</p> <p>1) 主文の解釈ができる。 2) 検査結果の解釈ができる。 3) 視覚素材の臨床的解釈ができる。 4) 出題者の意図を読み解くことができる。</p>
担当教員	<p>*有川 量崇、*五関 たけみ、*下坂 典立、*木本 統、*神尾 直人、*山本 泰、*宇都宮 忠彦、*田中 孝明、*高井 英樹、*小見山 道、*飯田 崇、*梅澤 幸司、*矢崎 貴啓、*石井 智浩、*井下田 繁子、*鈴木 正敏、*中田 浩史、*伊藤 誠康、*澁上 真奈、6年次学年教育主任、*村岡 宏隆、*神谷 直孝、*山口 秀紀、*濱野 美緒、*根本 晴子、*枝卓志、*内堀 聡史</p>
講義実施要項	<p>【授業の一般目標】 全部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。 2. 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 3. 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目：歯科医師国家試験 臨床実地問題 過去問 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作</p>
評価方法 (EV)	<p>・平常試験①②③ (40%) 及び総合試験 (60%) で算出した正答率が70%以上の者を医療行動科学9の合格者とする。合格基準に達しなかった者に対して再試験を行う。再試験の合格判定基準は正答率が70%以上とし、総合試験及び平常試験結果を合格判定に加味できる。総合試験欠席者には追試験を実施することがある。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/04 (土) 1時限 08:40~09:30	メディカルプレゼンテーション (保存修復学②)	<p>【授業の一般目標】 保存修復学領域における研究マインドの育成を図るため、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。 3. 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・事前学修項目：国家試験過去問題 (保存修復領域) ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義内容周辺知識の再確認 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有り (問題の演習、解説の作成) 学修媒体：解説講義</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p>	*神谷 直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/04 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション (保存修復学②)	<p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 c tooth wear&lt;歯の損耗&gt;</p>	*神谷 直孝
2020/04/04 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション (歯科麻酔学①: 113回歯科医師国家試験 C-65)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の主文の解釈ができる。 3. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の検査結果の解釈と視覚素材の判断ができる。 4. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の視覚素材の臨床的解釈ができる。 5. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 第113回歯科医師国家試験臨床実地問題 (歯科麻酔学領域:C-65) と甲状腺機能異常に関連する過去問題を解く。 ・事前学修時間: 45 分 ・事後学修項目: 授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間: 60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: プレゼンテーションスライドおよび配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ 歯科治療時の患者管理・麻酔管理 b 術中管理</p>	*鈴木 正敏
2020/04/04 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション (歯科矯正学①)	<p>【授業の一般目標】 歯科矯正学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 治療計画の立案に必要なデータの分析について ・事前学修時間: 60分 ・事後学修項目: 問題点のリストアップとその解決法について ・事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無: 無 学修媒体: 配布プリント、PCによるスライド 参考資料: 歯科矯正学第5版 医歯薬出版 新版 プロフィットの現代歯科矯正学 クイテッセンス出版 国家試験過去問題集</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 7 不正咬合の診断 エ 治療計画</p>	*五関 たけみ
2020/04/04 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション (全部床義歯学①)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。 3. 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 4. 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 歯科医師国家試験臨床実地問題全部床義歯領域領域過去問を自学自習する。 事前学修時間: 60分</p>	*中田 浩史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/04 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(全部床義歯学①)	事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着	*中田 浩史
2020/04/11 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(歯内療法学①)	【授業の一般目標】 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。  【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目 105-112回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。 ・事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体等：PC/講義資料  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 b 根尖性歯周疾患	*神尾 直人
2020/04/11 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(口腔外科学①)	【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。  【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第105-112回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と平成30年度に行われた模試の臨床実地問題(口腔外科学領域)を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。 事後学修時間：60分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 講義、PCスライド、プリント 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」、麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践」、第112回歯科医師国家試験臨床実地問題  【学修方略(LS)】 講義  【場所(教室/実習室)】 400教室  【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患	*山本 泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/11 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(口腔外科学①)	1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 d 舌癌	*山本 泰
2020/04/11 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(小児歯科学①)	<p>【授業の一般目標】 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題(小児歯科学領域)を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布プリント、スライド 参考図書：学健書院「小児の口腔科学」</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕</p>	*根本 晴子
2020/04/11 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(放射線学)①	<p>【授業の一般目標】 放射線領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 3. 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。 ・事前学修時間：40分  ・事後学修項目：授業時配布のプリントを見直し、類似した国家試験問題を復習しておくこと。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 講義・パワーポイント・プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p>	*村岡 宏隆
2020/04/25 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(局部床義歯学②)	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、その問題点を抽出できる。 3. 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 4. 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第113回歯科医師国家試験の臨床実地問題の事前学習 事前学修時間：1時間程度必要とする</p>	*石井 智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/25 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(局床義歯学②)	<p>事後学修項目:第113回歯科医師国家試験の臨床実地問題の事後学修 事後学修時間:1時間程度の事後学習を必要とする。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無:無 学修媒体等:400教室、PC</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 エ 治療計画の立案</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断</p>	*石井 智浩
2020/04/25 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(クラウンブリッジ補綴学①)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の主文の解釈ができる。 3.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。 4.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。 5.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目:113回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域を解く。 事前学修時間:30分 事後学修項目:授業プリントの復習、不足している知識の補充 事後学修時間:30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無:無 学修媒体:授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠損の治療</p>	*田中 孝明
2020/04/25 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(口腔インプラント学①)	<p>【授業の一般目標】 口腔インプラント学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、収集した臨床的問題点に分析を加え、総括ができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.口腔インプラント治療に関する臨床上の問題点を抽出できる。 3.口腔インプラント治療の臨床的問題点について分析し、適切な総括ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目:第112回と113回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔インプラント領域)を解く。 ・事前学修時間:45分 ・事後学修項目:授業時配布資料および歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔インプラント領域)の復習 ・事後学修時間:60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無:無 学修媒体:配布プリント、PCによるスライド 参考図書:よくわかる口腔インプラント学 第3版 医歯薬出版(株) 口腔インプラント治療指針2016 公益社団法人日本口腔インプラント学会編 口腔インプラント実習書(動画) 公益社団法人日本口腔インプラント学会編 永末書店 口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015 公益社団法人日本口腔イン</p>	*井下田 繁子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/04/25 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(口腔インプラント学①)	<p>プラント学会編 口腔インプラント学学術用語集 第3版 公益社団法人日本口腔インプラント学会編</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 e プロビジョナルレストレーション</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 h 装着 a 上部構造の設計</p>	*井下田 繁子
2020/04/25 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(歯周治療学①)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：113回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布プリントを熟読する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：あり(問題の演習と学生による解説) 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)</p>	*高井 英樹
2020/05/02 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(保存修復学①)	<p>【授業の一般目標】 保存修復学領域における研究マインドの育成を図るため、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。 3. 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：国家試験過去問題(保存修復領域) ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：講義内容周辺知識の再確認 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：有(問題の演習、解説の作成) 学修媒体：解説講義</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p>	*神谷 直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/02 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション (保存修復学①)	1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法	*神谷 直孝
2020/05/02 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション (歯科麻酔学② : 第13回歯科医師国試C-61 問題)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の主文の解釈ができる。 3. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の検査結果の解釈と視覚素材の判断ができる。 4. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の視覚素材の臨床的解釈ができる。 5. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：第113回歯科医師国家試験臨床実地問題 (歯科麻酔学領域:C-61) と心電図に関連する過去問題を解く。 ・事前学修時間：45 分 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プレゼンテーションスライド、配布資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ 歯科治療時の患者管理・麻酔管理 b 術中管理</p>	*下坂 典立
2020/05/02 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション (歯科矯正学②)	<p>【授業の一般目標】 歯科矯正学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯科矯正科領域における臨床症例について、分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：治療計画の立案に必要なデータの分析について ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：問題点のリストアップとその解決法について ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：配布プリント、PCによるスライド 参考資料：歯科矯正学第5版 医歯薬出版 新版 プロフィットの現代歯科矯正学 クイテッセンス出版 国家試験過去問題集</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 7 不正咬合の診断 エ 治療計画</p>	*五関 たけみ
2020/05/02 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション (全部床義歯学②)	<p>【授業の一般目標】 全部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、歯科医学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、その結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.1. 全部床義歯装着者の臨床症例において、その問題点を抽出できる。 3.2. 全部床義歯装着者の臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 4.3. 全部床義歯装着者の臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題全部床義歯領域領域過去問を自学自習する。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：30分</p>	*木本 統 *矢崎 貴啓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/02 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(全部床義歯学②)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着</p>	*木本 統 *矢崎 貴啓
2020/05/09 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(歯周治療学②)	<p>【授業の一般目標】 歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：112回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布プリントを熟読する。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：あり(問題の演習と学生による解説) 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)</p>	*高井 英樹
2020/05/09 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(口腔外科学②)	<p>【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第105-112回歯科医師国家試験臨床実地問題(口腔外科学領域)と平成30年度に行われた模試の臨床実地問題(口腔外科学領域)を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：PCスライド 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」、麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践」、第112回歯科医師国家試験臨床実地問題</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論I 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 ア 口腔・顎顔面の先天異常</p>	*山本 泰



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/09 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(口腔外科学②)	b 口唇裂・口蓋裂	*山本 泰
2020/05/09 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(小児歯科学②)	<p>【授業の一般目標】 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題(小児歯科学領域)を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布プリント、スライド 参考図書：学健書院「小児の口腔科学」</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過</p>	*根本 晴子
2020/05/09 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(放射線学)②	<p>【授業の一般目標】 放射線領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた放射線領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 3. 与えられた放射線領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた放射線領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。 ・事前学修時間：40分  ・事後学修項目：授業時配布のプリントを見直し、類似した国家試験問題を復習しておくこと。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 講義・パワーポイント・プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p>	*村岡 宏隆
2020/05/16 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(局部床義歯学②)	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の情報収集と診断を行い、結果の発表に必要なプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、その問題点を抽出できる。 3. 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、適切な処置方針を立てることができる。 4. 部分歯牙欠損を有する臨床症例において、分析結果の発表ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第113回歯科医師国家試験問題 事前学修時間：60分 事後学修項目：第113回歯科医師国家試験の復習</p>	*伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/16 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(局 部床義歯学②)	事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 400教室、PC アクティブラーニング：無 学修媒体：授業スライド 参考図書：歯学生のパーシャルデンチャー第6版、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学(2016、学建書院)、パーシャルデンチャーテクニック第5版 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠損の治療	*伊藤 誠康
2020/05/16 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(ク ラウンブリッジ補 綴学②)	【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の主文の解釈ができる。 3.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。 4.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。 5.クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：113回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域を解く。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業プリントの復習、不足項目の補充 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠損の治療	*田中 孝明
2020/05/16 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(顎 口腔機能治療学①)	【授業の一般目標】 顎口腔機能治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3.与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4.与えられた顎口腔機能治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：顎口腔機能治療学領域における第113回歯科医師国家試験問題の事前提示による反転授業 事前学修時間：30分 事後学修項目：顎口腔機能治療学領域における第113回歯科医師国家試験問題の事前提示による反転授業 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 400教室	*飯田 崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/16 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(顎口腔機能治療学①)	<p>【国家試験出題基準(主)】            歯科医学各論            各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害            1 病態            カ 口腔機能障害・口腔顔面痛</p>	*飯田 崇
2020/05/16 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(歯内療法学②)	<p>【授業の一般目標】            歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】            1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。            2. 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。            3. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。            4. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】            ・事前学修項目 105-112回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題            ・事前学修時間: 60分            ・事後学修項目: 授業時配布プリントを確認する。            ・事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】            アクティブラーニング 無            学修媒体 PC/講義資料</p> <p>【学修方略(LS)】            講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】            400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】            歯科医学各論            各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患            2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患            イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療            c 根尖性歯周疾患の治療</p>	*神尾 直人
2020/05/23 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(保存修復学③)	<p>【授業の一般目標】            保存修復学領域における研究マインドの育成を図るため、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】            1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」            2. 与えられた保存修復学領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。            3. 与えられた保存修復学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。            4. 与えられた保存修復学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】            ・事前学修項目: 国家試験過去問題(保存修復領域)            ・事前学修時間: 30分            ・事後学修項目: 講義内容周辺知識の再確認            ・事後学修時間: 60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】            アクティブラーニングの有無: 有り(問題の演習、解説の作成)            学修媒体: 解説講義</p> <p>【学修方略(LS)】            講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】            400教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】            歯科医学各論            各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患            1 歯の硬組織疾患            ウ 歯の硬組織疾患の治療            c 永久歯の間接修復法</p>	*神谷 直孝
2020/05/23 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(歯科麻酔学③: 第113回歯科医師国試B-77問題)	<p>【授業の一般目標】            臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】            1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」            2. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の主文の解釈ができる。            3. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の検査結果の解釈と視覚素材の判断ができる。            4. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の視覚素材の臨床的解釈ができる。            5. 歯科麻酔学領域臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】            ・事前学修項目: 第112回歯科医師国家試験臨床実地問題(歯科麻酔学領域: B-77)と静脈内鎮静法に関連する過去問題を解く。            ・事前学修時間: 45分            ・事後学修項目: 授業で配布した資料および講義中記載した内容。</p>	*山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/23 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(歯科麻酔学③: 第113回歯科医師国試B-77 問題)	<p>・事後学修時間: 60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: プレゼンテーションスライド、配布資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ 歯科治療時の患者管理・麻酔管理 b 術中管理</p>	*山口 秀紀
2020/05/23 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(障害者歯科学①)	<p>【授業の一般目標】 障害者歯科学領域における研究マインド育成を図るために歯科医学情報の収集と分析を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 与えられた障害者歯科学領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 3. 障害者歯科学領域における臨床症例の問題点について、適切な治療方針を立案できる。 4. 与えられた障害者歯科学領域における臨床症例の分析結果を理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目: 学習媒体を用いた項目を理解する。1) 行動調整 2) 歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群 3) 摂食嚥下障害 4) 精神および行動の障害 ・事前学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を用いた内容確認と整理 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無、 第113回歯科医師国家試験問題の事前提示による反転授業 学修媒体: スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第二版(日本障害者歯科学会編集)、医歯薬出版(株)、2017。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 イ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 a 治療環境</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 6 摂食嚥下障害への対応(摂食機能療法) ア 治療的アプローチ a 間接訓練 b 直接訓練 イ 代償的アプローチ 7 障害者の歯科治療 ア 基本的対応 a 一般的対応 b 行動調整 ウ 口腔疾患の治療 8 在宅医療、在宅支援 イ 多職種協働 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の 発育を障害する先天異常 ウ 遺伝性疾患(主に頭蓋・顎顔面に症状がみられる) a Apert症候群&lt;尖頭合指症&gt; c Robin シークエンス&lt;Pierre Robin症候群&gt; a Down症候群</p>	*梅澤 幸司
2020/05/23 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(全部床義歯学③)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯臨床実地問題の主文の解釈ができる。 3. 全部床義歯臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。 4. 全部床義歯臨床実地問題の視覚素材の臨床的解釈ができる。 5. 全部床義歯臨床実地問題の題者の意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: 歯科医師国家試験臨床実地問題全部床義歯領域領域過去問を自学自習する。 事前学修時間: 60分 事後学修項目: 授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間: 30分</p>	*木本 統

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/05/23 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション(全部床義歯学③)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント，PCでの解説</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p>	*木本 統
2020/06/06 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(口腔外科学③)	<p>【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第112回歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔外科学領域）と平成30年度に行われた模試の臨床実地問題（口腔外科領域）を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：授業スライド 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」、麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践2018」、第110回歯科医師国家試験臨床実地問題</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 顎顔面の変形をきたす疾患・病態・診断 a 顎変形症</p>	*濱野 美緒
2020/06/06 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(歯内療法学③)	<p>【授業の一般目標】 歯内療法領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた歯内療法領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた歯内療法領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目 105-112回 歯科医師国家試験 歯内分野 臨床実地問題 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布プリントを確認する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学修媒体 PC/講義資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p>	*神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/06 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(歯内療法学③)		* 神尾 直人
2020/06/06 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(小児歯科学③)	<p>【授業の一般目標】 小児歯科領域における研究マインド育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 与えられた小児歯科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた小児歯科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：歯科医師国家試験臨床実地問題(小児歯科学領域)を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：授業配布の資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：配布プリント、スライド 参考図書：学健書院「小児の口腔科学」</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保隙(静的咬合誘導) b 保隙装置の適応症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保隙(静的咬合誘導) a 保隙装置の分類 c 保隙装置の製作法</p>	* 根本 晴子
2020/06/06 (土) 4時限 11:40～12:30	医療行動科学③-2 (臨床検査医学・病理学)	<p>【授業の一般目標】 臨床検査・病理診断領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行い、そのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 以下の行動目標とその教授内容は臨床経験に基づいている。 2. 与えられた臨床検査領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 3. 与えられた臨床検査領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた病理診断領域における臨床症例について、その臨床的問題を抽出できる。 5. 与えられた病理診断領域における臨床症例の問題点について、適切な処置方針を立案できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：5年次までに配布したプリント、ノートや実習書を見直しておくこと。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布のプリントを見直し、類似した国家試験問題を復習しておくこと。 ・事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 講義・パワーポイント・プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 3 検体検査 ア 検体検査 f 病理学検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論III 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治</p>	* 淵上 真奈 * 宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/06/06 (土) 4時限 11:40～12:30	医療行動科学③-2 (臨床検査医学・病理学)	療、歯科治療時の留意点	* 淵上 真奈 * 宇都宮 忠彦
2020/06/13 (土) 1時限 08:40～09:30	メディカルプレゼンテーション(口腔外科学④)	<p>【授業の一般目標】 口腔外科領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験とに基づき以下の内容を教授する 2. 与えられた口腔外科領域における臨床症例について、その臨床的問題点を抽出できる。 3. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。 4. 与えられた口腔外科領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第112回歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔外科学領域）と平成30年度に行われた模試の臨床実地問題（口腔外科領域）を解く。 事前学修時間：60分 事後学修項目：講義で習得した内容を踏まえ、歯科医師国家試験臨床実地問題に再度取り組む。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：授業スライド 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」、麻布デンタルアカデミー「歯科医師国家試験過去問題集 実践2018」、第110回歯科医師国家試験臨床実地問題</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 n 前癌病変、前癌状態</p>	* 濱野 美緒
2020/06/13 (土) 2時限 09:40～10:30	メディカルプレゼンテーション(クラウンブリッジ補綴学③)	<p>【授業の一般目標】 臨床歯科医学における問題解決能力の素地を養うために、臨床実地問題に対する分析・解釈する能力を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の主文の解釈ができる。 3. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の検査結果の解釈ができる。 4. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の視覚素材に対する臨床的解釈ができる。 5. クラウンブリッジ領域における臨床実地問題の出題者の意図を読み解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第113回と第112回歯科医師国家試験臨床実地問題クラウンブリッジ領域を解く。 事前学習時間：30分 事後学修項目：授業プリントの復習、不足項目の補充 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 d 歯の欠損の治療</p>	* 内堀 聡史
2020/06/13 (土) 3時限 10:40～11:30	メディカルプレゼンテーション(口腔インプラント学)	<p>【授業の一般目標】 口腔インプラント学情報の収集と解釈に必要な臨床症例を分析し、収集した臨床的問題点に分析を加え総括ができる。</p>	* 井下田 繁子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	②)	<p><b>【行動目標 (SBOs)】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 口腔インプラント治療に関する臨床上の問題点を抽出できる。  3. 口腔インプラント治療の臨床的問題点について分析し、適切な総括ができる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  ・事前学修項目：第112回と113回歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔インプラント領域）を解く。  ・事前学修時間：45分  ・事後学習項目：授業時配布資料および歯科医師国家試験臨床実地問題（口腔インプラント領域）の復習  ・事後学習時間：60分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニングの有無：無  学修媒体：配布プリント、PCによるスライド  参考図書：よくわかる口腔インプラント学 第3版 医歯薬出版（株）  口腔インプラント治療指針2016 公益社団法人日本口腔インプラント学会編  口腔インプラント実習書（動画）公益社団法人日本口腔インプラント学会編  永末書店  口腔インプラント治療とリスクマネジメント2015 公益社団法人日本口腔インプラント学会編  口腔インプラント学学術用語集 第3版 公益社団法人日本口腔インプラント学会編</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b>  講義</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b>  400教室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b>  歯科医学各論  各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  6 インプラント義歯による治療  ア インプラント義歯の設計  b 埋入計画の立案</p> <p><b>【国家試験出題基準 (副)】</b>  歯科医学各論  各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害  6 インプラント義歯による治療  イ 臨床操作  a インプラント埋入手術(一次手術)  8 指導と管理  オ リコールとメンテナンス  f インプラント支持療法</p>	*井下田 繁子
2020/06/13 (土) 4時限 11:40～12:30	メディカルプレゼンテーション (歯周治療学③)	<p><b>【授業の一般目標】</b>  歯周治療学領域における研究マインドの育成を図るために、臨床症例の分析を行いそのプロダクト発表のためのプレゼンテーションスキルを修得する。</p> <p><b>【行動目標 (SBOs)】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例について、その臨床的な問題点を抽出できる。  3. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の問題点について適切な処置方針を立案できる。  4. 与えられた歯周治療学領域における臨床症例の分析結果をプレゼンテーションできる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  事前学修項目：111回歯科医師国家試験臨床実地問題歯周治療学領域を解く。  事前学修時間：60分  事後学修項目：授業配布プリントを熟読する。  事後学修時間：1時間</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニングの有無：あり（問題の演習と学生による解説）  学修媒体：授業プリント、PCでの解説</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b>  講義</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b>  400教室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b>  歯科医学各論  各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患  3 歯周疾患  ウ 歯周疾患の治療  d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)</p>	*高井 英樹